

3年プログレスコース
英語演習 Cクラス (興梠)

休校期間課題 (1/18~1/22)

- 以下の課題をルーズリーフまたはノートにやって休校明け最初の英語演習の授業で提出すること。

📖 スコープワーク 22 不定詞、動名詞の範囲の①~③の問題

① FURTHER STUDY 不定詞 (p.30~31)

→授業でやった内容のため、自力で解いて答え合わせまでやって提出

② Lesson12 動名詞(1) (p.32~33)

③ Lesson13 動名詞(2) (p.34)

→②と③は授業ではまだやっていないため、以下の★印のどちらかの方法で行うこと

★DUALSCOPE の参考書 (厚い本)、22 スコープ英文法または DUALSCOPE の教科書を見ながら自力でチャレンジ
★解答を写しながら覚える
(解答を写す場合は必ず赤ペンまたは青ペンで写すこと！)

※ 連絡

- 学校再開後 (1/25) は卒業考査一週間前で、テスト範囲は「助動詞・不定詞・動名詞」の全てです。
- この課題はテスト勉強にもなっているため、分からないところがある場合は学校再開後に質問してしっかり理解すること！

Let's try!

日本語を参考にして、 に適切な2語を入れなさい。 pp. 68 ~ 69

- Please tell me use this computer. 「～のしかた」 [疑問詞+to do] - 69
- His son is too young alone. 「1人で旅行するには幼すぎる」 [程度・結果] - 69
- Sam usually leaves home early catch the first train. 「～できるほど…」 [程度・結果] - 69
- the truth, I cannot trust him. 「実を言うと」 [独立不定詞] - 69
- The Prime Minister visit Beijing next month. (公式予定) [be+to do] - 69

1. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。

- 私はそのとき何をすればよいかわからなかった。
I didn't know () () do then.
- いつ牛乳を加えればよいか教えてくれませんか。
Will you tell me () () add milk?
- 私たちは、どちらを買えばよいか彼に尋ねた。
We asked him () () buy.
- アンディはどこに座ればよいかわからなかった。
Andy didn't know () () sit.
- パーティーにだれを招待したらよかったですか。
I'm wondering () () invite to the party.
- あなたにギターの弾き方を教えてあげよう。
I'll teach you () () play the guitar.

1. ② p. 184

2) add 「～を加える」

5) wonder 「～たろうかと思ふ」

2. 日本文に合うように()内の語句を並べかえなさい。 (一) ① ② - ④

- マユは中国の歴史を理解するためにたくさん本を読んだ。
(to, Chinese history, order, understand, in)
Mayu read many books
- リョウは芸術を勉強するためにパリへ行った。(as, study, so, art, to)
Ryo went to Paris
- 眼をきで目を開けていられない。(sleepy, eyes, too, keep, my, to)
I'm
- 私はもう一人暮らしができるほどの年だ。(live, enough, to, old, am)
I
- ステラはモデルになれるほど背が高い。(be, tall, to, is, so, as)
Stella a model.

2. ② pp. 184 ~ 187

5) model 「モデル」

3. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。

- 率直に言って、この計画はお金のむだだ。
To () () with you, this plan is a waste of money.
- 彼は英語は言うまでもなく、中国語も話す。
He speaks Chinese, to say () () English.
- 私は終電に乗り遅れ、さらには悪いことには財布をなくした。
I missed the last train, and to make () () I lost my wallet.
- 奇妙なことに、イギリスでは幽霊屋敷が人気だ。
() () () () , haunted houses are popular in England.

(一) ① ⑤

3. ② p. 188

1) a waste of 「～のむだ」

4) haunted house 「幽霊屋敷」

4. 各文を日本語に直しなさい。

- The bookstore is to open next week.
- Not a star was to be seen that night.
- They were never to see each other again.
- If you are to make others happy, become happy first.

(一) ① ⑥

4. ② pp. 188 ~ 189

1) 予定を表す

2) 可能を表す

3) 運命を表す each other 「お互い」

4) 意図を表す ここで is want to do の意味

5. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。

- 駅への行き方を教えてくれませんか。
Can you tell me () () () to the station?
- アィは彼女に何と言ったよいかわからなかった。
At didn't () () () to her.
- 私はその花瓶を割らないように注意深く運んだ。
I carried the vase carefully () () () () break it.
- 今日は外出するには寒すぎる。
It's () () () () out today.
- ジョーンズさんはその大きな家が買えるほど裕福だった。
Mr. Jones was () () () () the large house.
- あなたは5時まで彼を待たなければならぬ。(be+to do を使って)
() () () () () for him until five.

5. ② ③ ④

1) ② 「疑問詞+to do」を使う。

3) vase 「花瓶」

Let's try!

テキスト P. 40

- ()内の語句を入れるのに適切な箇所をへて示しなさい。
- Getting up early good for your health. (is) [名詞的性質：主語] → ①
 - His hobby is pictures. (drawing) [名詞的性質：補語] → ②
 - I'm good at pizza. (making) [名詞的性質：前置詞の目的語] → ③
 - Jane is proud of being a professional tennis player. (her son) [動名詞の意味上の主語] → ④
 - Meg is proud of having a nurse when she was young. (been) [完了動名詞] → ⑤

1. 日本文に合うように()内の語を並べかえなさい。

(→ ①②)

- 他の国について学ぶことは大切です。
(countries, important, learning, other, is, about)
- 私の夢は外国に住むことです。(is, in, dream, my, living)
- あなたと話せて楽しかったです。(talking, you, I, with, enjoyed)
a foreign country.
- 私は地図を読むのが得意だ。(good, maps, am, reading, at)
I _____
- ハルトはヨーロッパでサッカーをすることに関心がある。
(in, soccer, interested, is, playing)
Haruto _____ in Europe.

2. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。

(→ ③②)

- サリーは毎朝、満員電車に乗るのにうんざりしている。
Sally is tired of () the crowded train every morning.
- 彼の両親は、彼が騒がしい音楽を演奏するのが好ましく思っていない。
His parents don't like () loud music.
- ジムはそのチームのメンバーであることを誇りに思っている。
Jim is proud of () a member of the team.
- あなたが次のツアーに参加してもよろしいでしょうか。
Would you () your table?
- 私はトムがその犬の世話をするべきだと主張した。
I insisted on () after the dog.
- ジムは彼女が自分を覚えていないのではないかと心配していた。
Dan was afraid of () him.

1. ③ pp. 202 ~ 203
1) 動名詞が主語

2) 動名詞が補語

3) 動名詞が目的語

4) ・5) 動名詞が前置詞の目的語

4) read maps
「地図を読む」

5) Europe
「ヨーロッパ」

2. ③ pp. 204 ~ 205

1) ・3) 動名詞の意味上の主語は文の主語と同じ

1) be tired of doing 「～するのになんざりしている」

2) loud music 「騒がしい音楽」

4) 「加わる」(=join) の意味上の主語は「私」

5) insist on 「～を主張する」
6) 動名詞の否定形は動名詞の直前に not を置く。

3. 各組の文がほぼ同じ意味になるように()内に適語を入れなさい。

(→ ①②)

- Kenta is sure that he will pass the exam.
Kenta is sure of () the exam.
I'm sorry that I didn't believe you.
I'm sorry for () () you.
- I was ashamed of not knowing the answer.
I was ashamed that I () () the answer.
- Bob was proud of having won the game.
Bob was proud that he () () the game.
- Are you aware that you broke the rule?
Are you aware of () () the rule?

4. ()内の語を入れるのに最も適する位置を記号で選び、各文を日本語に直しなさい。

総合

- Playing cards ♪ with them ♪ a lot of ♪ fun. (was)
- I ♪ start ♪ the morning ♪ by ♪ a cup of coffee. (having)
- Bill is ♪ sure ♪ of ♪ accepting ♪ his proposal. (her)
- I apologized to Ken ♪ for ♪ having ♪ answered ♪ his email. (not)
- Turn ♪ up ♪ your computer ♪ using ♪ it. (after)

5. 日本文に合うように()内に適語を入れなさい。

総合

- 私は彼らが無事に帰ってくることを確信している。
I'm sure of () safely.
- 私たちの写真を1枚撮っていただけませんか。
Would you mind () of us?
- 食べる前に手を洗いましたか。
Did you () () ?
- ジェーンは彼が速く運転しすぎることに文句を言った。
Jane complained of () () .
- 子どもたちは親が物語を読んでくれるのが大好きだ。
Children love () () stories to them.
- エキキはノックもせず、私の部屋に入ってきて来る。
Yuki comes into my room () on the door.

3. ③ pp. 205 ~ 207
1) doing が未来を表す場合
② ③ pp. 206
2) ・4) ・5) that節中の動詞が前置詞より以前の時を表す場合
完了動名詞を使う
3) 動名詞は前置詞と同じ時を表す。

4.
1) play cards 「トランプをする」
2) by 「(手段)によって」
3) proposal 「提案の申し込め、プロポーズ」
4) 完了動名詞の否定形
⑤ A. 207
「BのことでAに謝る」

5) break a rule 「規則を破る」

1) be sure of 「～を確信している」
safely 「無事に」
2) 「あなたは写真を撮るのはいやですか」が前置詞「嫌な」の主語は「あなた」

3) 動名詞が前置詞 before の目的語になる。

⑤ pp. 202 ~ 203

1) 「ノックすることをしないで」が前置詞 knock 「ノックする」

Let's try!

()内の動詞を適当な形にして__に入れなさい。2語になるものもあります。 参 テキスト p. 42

- 1 Everyone dislikes being _____ by others. (scold) [動名詞の受動態] → 8
 2 I remember _____ the book to the library. (return) [[~したこと]] → 9
 3 Please remember _____ the book to the library. (return) [[忘れずに~する]] → 10

1. 日本語に合うように()内に適語を入れなさい。 (→ § 4)

- 1) このTシャツは洗われたあとでも縮みません。
 This T-shirt won't shrink after () () .
 2) だれでも人と比べられるのは嫌いです。
 Everyone dislikes () () with others.

1. 参 p. 207

- 1) shrink 「縮む」
 2) compare A with B
 「AとBを比べる」

2. ()内の動詞を適当な形にして__に入れなさい。答えが2つある場合もあります。 (→ § 5 1 ~ 3)

- 1) My uncle should give up _____. (smoke)
 2) We hope _____ you at the party. (see)
 3) I missed _____ the ball. (catch)
 4) You should practice _____ every day. (sing)
 5) I continued _____ English at college. (study)
 6) It stopped _____ an hour ago. (rain)
 7) What do you plan _____ this summer? (do)
 8) Suddenly she began _____. (cry)

2. 参 pp. 208 ~ 211

動名詞だけを目的語にとる動詞、不定詞だけを目的語にとる動詞、両方を目的語にとる動詞がある。
 両方を目的語にとる動詞は、左の8文中2つ。

3. 日本語に合うように()内に適語を入れなさい。 (→ § 5 4)

- 1) 私は去年中国を訪れたことを決して忘れないでしょう。
 I'll never forget () () last year.
 パスポートを持ってくるのを忘れないで。
 Don't forget () () your passport.
 2) ビルはその岩に登ろうと努力したが、できなかった。
 Bill tried () () the rock, but he couldn't.
 ビルはためしにそのシャンプーを使ってみた。
 Bill tried () the shampoo.
 3) 残念ながら切符を手に入れることができなかった。
 I regret () () I couldn't get a ticket.
 マリはそのスカートを買ったことを後悔している。
 Mari regrets () the skirt.

3. 参 pp. 211 ~ 212

<+ 動名詞>は「今までにしたこと」、<+ 不定詞>は「これからすること」を表す。
 1) passport
 「パスポート」
 2) shampoo
 「シャンプー」
 (アクセント注意 [ʃæmpú:])
 3) 1文めは、相手に残念なことを伝えるときに使う表現。「残念ながらら~だということと言わないといけない」と考える。
 skirt 「スカート」

不定詞 (3) (p. 29)

Let's try!
1 to have been 2 to be loved
3 to be waiting

解説 1 seems は現在、when he was young は過去。述語動詞よりも前の時は完了不定詞で表す。
2 不定詞の受動態は (to be + 過去分詞)。
3 不定詞の進行形は (to be doing)。

2 不定詞の受動態は (to be doing)。3 「招待された」のは述語動詞 seems より前の時で、受身の意味なので、完了不定詞の受動態 (to have been + 過去分詞) を用いる。4 appeared は過去、all day はそれ以前の時。述語動詞よりも前の時は完了不定詞で表す。「1日中眠っていた」のは過去に進行中の動作で、述語動詞 appeared より前の時なので、完了不定詞の進行形 (to have been doing) を用いる。

1. 1) to be 2) to have been
3) to have come

解説 1) 述語動詞 (seems) と that 節の動詞 (is) はどちらも現在で同じ時を表すので to be を用いる。
2) that 節の動詞 (was born) は過去で、述語動詞 (is said) の時 (現在) より以前の時を表すので、完了不定詞を使う。
3) that 節の動詞 (had come) は過去完了で、述語動詞 (seemed) の時 (過去) より以前の時を表すので、完了不定詞を使う。

2) 彼はスウェーデンで生まれたと言われている。 3) ジョンは以前この場所に来たことがあったようだった。

2. 1) be respected 2) be raining
3) have been invited
4) have been sleeping

解説 1) 不定詞の受動態は (to be + 過去分詞)。
2) 不定詞の進行形は (to be doing)。3) 「招待された」のは述語動詞 seems より前の時で、受身の意味なので、完了不定詞の受動態 (to have been + 過去分詞) を用いる。4) appeared は過去、all day はそれ以前の時。述語動詞よりも前の時は完了不定詞で表す。「1日中眠っていた」のは過去に進行中の動作で、述語動詞 appeared より前の時なので、完了不定詞の進行形 (to have been doing) を用いる。

3. 1) He is thought to have leaked the information.
2) The dog didn't want to be left (in front of the supermarket).
3) They seem to be talking (about the accident).

解説 1) 述語動詞よりも前の時は完了不定詞で表す。
2) 不定詞の受動態は (to be + 過去分詞)。
3) 不定詞の進行形は (to be doing)。

FURTHER STUDY

不定詞 (pp. 30 ~ 31)

Let's try!
1 how to 2 to travel 3 enough to
4 To tell 5 is to

解説 1 how to ~ は「どのように～すべしか」～のしきたり。方法」の意味を表す (疑問詞 + to do) の表現。2 「～するには…すぎる」(程度)。「…すぎて～できない」(結果)は (too ... to do) で表す。
3 「～できるほど…」(程度)。「(十分)…なので～できる」(結果)は (... enough to do) で表す。
4 to tell the truth 「実を言うと」は独立不定詞で、文全体を修飾している。5 「～することに…なる」という公式に決められた予定を (be + to do) で表すことができる。

2 彼の息子は1人で旅行はできない。 3 中丸はななについてい早く家を出るので始発電車に上る。 / サムはななについてい早く家を出るので始発電車に上る。

2. 1) (Mayu read many books) in order to understand Chinese history (.)
2) (Ryo went to Paris) so as to study art (.)
3) (I'm) too sleepy to keep my eyes (open).
4) (I) am old enough to live (on my own).

乗ることができ、 4 車を言うと、彼のこと信用できないんです。 5 総理大臣は来月北京を訪問することに決まっています。

1. 1) what to 2) when to
3) which to 4) where to
5) who (m) to 6) how to

解説 1) what to do は「何を～すべしか」の意味を表す (疑問詞 + to do) の表現。2) when to do 「いつ～すべしか」 3) which to do 「どちらを～すべしか」 4) where to do 「どこへで」～すべしか」 5) who (m) to do 「だれを」～すべしか」 6) how to do 「どのように」～すべしか、～のしきたり」

2. 1) (Mayu read many books) in order to understand Chinese history (.)
2) (Ryo went to Paris) so as to study art (.)
3) (I'm) too sleepy to keep my eyes (open).
4) (I) am old enough to live (on my own).

5) (Stella) is so tall as to be (a model).

解説 1) in order to do 「～するために」 2) 「～するために」は so as to do でも表せる。 3) too ... to do 「～するには…すぎる」 「…すぎて～できない」 4) 「～できるほど…」(程度)。「(十分)…なので～できる」(結果)は (... enough to do) で表す。 5) (so ... as to do) は「～するほど…」(程度)、または「(とても)…なので～」(結果)を表す。

3. 1) be frank 2) nothing of
3) matters worse 4) Strange to say

解説 1) to be frank with you 「率直に言う」とは独立不定詞で、文全体を修飾している。 2) to say nothing of ~ 「～は言うまでもなく」 3) to make matters worse 「さらに悪いことには」 4) strange to say 「奇妙なことには」

4. 1) その本屋は来週閉店する予定だ。
2) その別荘は1つも見えなかった。
3) 彼らはお互いに二度と会うことはなかった(空想ない)運命だった。
4) 他人の舌を幸せにしたければ、まず幸せにならなければならない。

5) (Stella) is so tall as to be (a model).
2) (Ryo went to Paris) so as to study art (.)
3) (I'm) too sleepy to keep my eyes (open).
4) (I) am old enough to live (on my own).

動名詞 (1) (pp. 32 ~ 33)

動名詞 (1) (pp. 32 ~ 33)

Let's try!
1 Getting up early / good for your health. (is)
2 His hobby is / pictures. (drawing)
3 I'm good at / pizza. (making)
4 Jane is proud of / being a professional tennis player. (her son)
5 Meg is proud of having / a nurse when she was young. (been)

解説 1 Getting up early が主語。 2 drawing pictures が補語。 3 be good at doing 「～が得意だ」。at は前置詞なので、後に続く動詞は動名詞になる。 4 動名詞の前に目的格または所有格の (C) 名詞を置いて、動名詞の意味上の主語を表す。 5 「看護師であった」時は「誇りに思う」という現在の時よりも前のことなので、完了動名詞 (having + 過去分詞) を使う。

2 彼の趣味は絵を描くことです。 3 私はピザを作るのが得意です。 4 ジェーンは息子がプロのテニス選手になる。

1. 1) Learning about other countries is important (.)
2) My dream is living in (a foreign country).
3) I enjoyed talking with you (.)
4) (I) am good at reading maps (.)
5) (Haruto) is interested in playing soccer (in Europe).

解説 3) enjoy は目的語に動名詞をとる。 4) ~ (s) 前置詞に続く動詞は動名詞になる。 5) be interested in doing 「～することに関心がある」

動名詞 (1) (pp. 32 ~ 33)

1) riding 2) his [him] playing
3) being 4) mind my [me] joining
5) Tom's [Tom] looking
6) her not remembering

解説 1) riding は目的語に動名詞をとる。 2) (s) 前置詞に続く動詞は動名詞になる。 3) be interested in doing 「～することに関心がある」

2) 彼の趣味は絵を描くことです。 3 私はピザを作るのが得意です。 4 ジェーンは息子がプロのテニス選手になる。

手であることを誇りに思っている。 5 メグは若いころ看護師であったことを誇りに思っている。

詞のは続く動詞は動名詞になる。 4) 「加わる」の意味上の主語は「私」なので、所有格または目的語にして動名詞の前に置く。 Would you mind my time doing? は「私が～するのはいいですか」→「～してもよろしいですか」の意味。「いやではありませぬよー」いいですよ」と答える場合は、Not at all. or Of course [Certainly] not. を使う。 Yes と答えるとは、前置詞 on に続くので、look を動名詞にする。動名詞の意味上の主語 Tom's [Tom] を動名詞の前に置く。 6) 動名詞の否定形なので not を動名詞の前に置き、さらに意味上の主語 her を not の前に置く。

3. 1) passing 2) not having believed 3) didn't know 4) had won 5) having broken

【解説】 1) 動名詞は述語動詞が表す時よりも先の未来を表すこともある。 2) that 節の動詞 (didn't believe) は過去で、述語動詞の時 (現在) よりも前の時を表すので完了動名詞にする。 not は having の前に置く。 3) knowing は単純動名詞なので、述語動詞 (was) と同じ時 (過去) を表す。 4) 完了動名詞 having won は述語動詞 (was) よりも前の時を表すので過去完了にする。 5) broke は述語動詞 (are) よりも前の時を表すので、完了動名詞にする。

【例】 1) テンツは自分分試験に合格すると確信している。 2) あなたを信じなかったことを申し訳なく思う。 3) 私は答えがわからなくて恥ずかしかった。 4) ボーは試合に勝ったことを誇りに思っていた。 5) あなたは規則を破ったことに気づいているのか。

動名詞 (2) (p. 34)

- Let's try! 1 scolded 2 returning 3 to return

【解説】 1 動名詞の受動態は (being + 過去分詞) で表す。 2 remember doing 「～したことを覚えていいる」 3 remember to do 「忘れずに～する。これから～することを覚えておく」

【例】 1 だれでも人に叱られるのは嫌いです。 2 私はその本を図書館に返却したので覚えています。 3 その本を忘れずに図書館に返却してください。

4. 1) ウ/彼(彼女)らとトランプをするのはとても楽しかった。 2) エ/私は1杯コーヒーを飲むことで朝を始めろ。 3) ウ/どしどし彼女がフロローアを要け入れると確信している。 4) エ/私はオンラインにメールを返さなかったことを謝った。 5) ウ/コンピュータは使った後に電源を切ってください。

【解説】 1) Playing cards with them が主語。 2) by は手段を表す前置詞。 by doing で「～することによって」の意味を表す。 3) Her は動名詞 accepting の意味上の主語。 4) not を動名詞の前には続く動詞は動名詞にする。 5) 前置詞 after に続く動詞は動名詞。

5. 1) their (them) coming back 2) taking a photo (picture) 3) wash your hands before eating 4) his [him] driving too fast 5) their parents' [parents'] reading 6) without knocking

【解説】 1) 動名詞の意味上の主語「彼ら」を所有格または目的語で示す。 2) Would you mind doing? 「～することはいいですか」→「～していただいただけませんか」はでいねいな依頼を表す文。 3) 前置詞 before に続く動詞を動名詞にする。 4) 動名詞の意味上の主語「彼」を所有格または目的語で示す。 5) 動名詞の意味上の主語「彼らの」親しみを動名詞の前に置く。所有格は their parents' となる。 6) 「～せずに」は without doing.

動名詞 (2) (p. 34)

1. 1) being washed 2) being compared

【解説】 動名詞の受動態は (being + 過去分詞) で表す。 2. 1) smoking 2) to see 3) catching 4) singing 5) to study / studying 6) raining 7) to do 8) to cry / crying

【解説】 1) give up は動名詞を目的語にする。 2) hope 「～することを望む」は動名詞を目的語にする。 3) miss 「～することを懐かしむ」は動名詞を目的語にする。 4) practice 「～することを練習する」は動名詞を目的語にする。 5) continue は不定詞・動名詞の両方を目的語にする。

ことができ、意味はほぼ同じである。 6) stop は動名詞を目的語にする。 7) plan は不定詞を目的語にする。 8) begin は不定詞・動名詞の両方を目的語にすることかでき、意味はほぼ同じである。

【例】 1) おじはタバコを吸うのをやめるべきだ。 2) 私たちはパーティーであなたに会えればと思います。 3) 私はボールを受けそこねた。 4) あなたは毎日歌う練習をするべきです。 5) 私は大卒で英語を勉強し続けた。 6) 1時間前に雨がやんだ。 7) あなたは今年の夏に何をやる計画ですか。 8) 突然、彼女は泣き始めた。

FURTHER STUDY

- Let's try! 1 reading 2 crying 3 telling

【解説】 1 be worth doing 「～する価値がある」 2 cannot [can't] help doing 「～せずにはいられない」 3 There is no doing 「～することはできない」

【例】 1 その本は2度読む価値がある。 2 その知らせを聞いたとき、私は泣かずにはいられなかった。 3 次に何が起こるかにはわからない。

【解説】 1) in using 2) traveling [travelling] 3) about eating / say to 4) On hearing

【解説】 1) in doing 「～するとき」 2) be worth doing 「～する価値がある」 3) How [What] about doing? = What do you say to doing? は「～しませんか」→「～してはどうですか」と提案・勧告を表す表現。 4) on doing 「～すると同時に」

【例】 1) この道具を使うときには注意すべきです。 2) キリシタは旅行する価値がある。 3) 今日は外食しませんか。 4) テキはその知らせを聞くやいなやうれしくて飛び上がった。

- Let's try! 1 drinking 2 broken 3 closed 4 waiting 5 understood

【解説】 1 「壊れたおちちや」は「壊されたおちちや」と考え過去分詞を使う。 2 remain は補語を必要とする動詞。 (remain + 分詞) で「～したままでいる」。 4 (keep + O + 現在分詞) 「Oを～(して)いる状態」にしておく」 5 make oneself understood 「自分の言うことを通じさせる[理解させる]」

【例】 1 水を飲んでいる男の兄は私の兄です。 2 その幼い女の兄は壊れたおちちやで遊んでいた。 3 その所は1週間ずっと閉まっていた。 4 そんなに長い間人を得た感で遊んではいけません。 5 あなたの英語は通じますか。

分詞 (1) (pp. 36 ~ 37)

3. 1) visiting China / to bring 2) to climb / using 3) to say / buying

【解説】 1) forget doing は「(過去に)～したことを忘れる」 forget to do は「(これから)～することを忘れる」の意味。 2) try to do は「～しようとする」の意味。 3) regret to do は「残念ながら～する」 regret doing は「～したことを後悔する」の意味。

動名詞 (p. 35)

2. 1) 私はその光景に笑わずにはいられなかった。 2) 私に考え直すように言ってもむだです。 3) 今夜どちらのチームが勝つかはわからない。

【解説】 1) cannot [can't] help doing 「～せずにはいられない」 2) It is no use doing 「～してもむだである」 3) There is no doing 「～することはできない」

【解説】 1) feel like doing 「～したい気がする」 2) look forward to doing 「～することを楽しみにして待つ」 3) on doing 「～すると同時に」 4) S prevent O from doing 「(SはOから)～するのを妨げる」 SのせいでOは～できない 5) be used [accustomed] to doing 「～することには慣れている」

3. 1) like playing 2) forward to visiting 3) On getting [waking] 4) prevented [kept]. from 5) used [accustomed] to sleeping

【解説】 1) feel like doing 「～したい気がする」 2) look forward to doing 「～することを楽しみにして待つ」 3) on doing 「～すると同時に」 4) S prevent O from doing 「(SはOから)～するのを妨げる」 SのせいでOは～できない 5) be used [accustomed] to doing 「～することには慣れている」